

【様式】

令和5年度 福井県立敦賀高等学校定時制 学校評価書

項目	具体的取組	成果と課題	改善策・向上策
1 教務 授業への積極的な取り組みの指導と基礎学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ■毎日、全教職員による打ち合わせ会を行い、生徒の出欠状況や授業の様子を把握し、きめ細かい学習指導に活かす。(目標:出席状況満足度90%) ■低学年での授業を充実させ、段階的にアクティブラーニング型の授業を取り入れ、主体的に学習に取り組む態度を育成するとともに、ICT機器を活用したわかりやすい授業を工夫し、基礎学力の向上を図る。(目標:授業わかる度80%) 	<ul style="list-style-type: none"> ■毎日の打ち合わせ会を通して、生徒一人ひとりの状況を全教員で共有することで、一人ひとりに対応した指導ができた。皆勤・精勤の生徒がいるものの、遅刻・欠席が非常に多く欠課時数が規定を超えた生徒もいた。(結果:出席状況満足度 81.1%(79.1)) ■全教科でアクティブラーニング型の授業を取り入れ、授業改善を図るとともに、タブレットの活用等を通して教材や指導方法を工夫した。(結果:授業わかる度 86.5%(79.1)) ■1,2年次の国語、数学、英語で習熟度別授業編成を展開し、手厚く、基礎・基本を重視した指導が徹底できた。 <p style="text-align: center;">※()内は昨年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■多様な生徒が多く在籍しており、個々の興味・関心・意欲等を踏まえてきめ細かく指導・支援していく。 ■アクティブラーニングを取り入れた授業を行ない生徒が主体的に取り組めるよう、ICT機器(タブレット)を活用し、教材や指導方法の工夫について協議・検討していく。 ■習熟度別の授業編成と展開を継続するとともに、学び直しを目的にした学校設定科目「モーニングちょっと」でAI学習アプリ「すらら」を活用していく。
2 生徒支援 基本的な生活態度の育成と規律ある集団生活の定着	<ul style="list-style-type: none"> ■挨拶の励行と頭髪等の身だしなみを整えることについて指導する。(目標:挨拶の励行度90%) (目標:校則の遵守度90%) ■学校行事や生徒会活動を通して、集団生活の定着を図り、自己肯定感を高める。(目標:生活支援満足度90%) 	<ul style="list-style-type: none"> ■今年度、挨拶を励行した生徒は89.1%(79.0)と昨年度を大きく上回り、目標を達成することができた。頭髪等の校則を守ることができた生徒は100%(95.3)と目標を達成することができた。 ■学校行事を通して生徒に活躍の場面を与えることができたと思うが、保護者の生活支援満足度は90.9%(80.0)であり、目標を達成することができた。 <p style="text-align: center;">※()内は昨年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■引き続き、登校時に教職員が玄関に立ち、全教職員が同じ規範意識のもと挨拶の励行と身だしなみを整えることについて呼び掛ける。 ■新入生に対して、全教職員による観察・情報共有を徹底し、生徒が新しい環境により早く適応できるように努める。
3 進路支援 進路目標の早期設定と望ましい職業観の育成	<ul style="list-style-type: none"> ■進路ガイダンスやキャリア教育を通して具体的な進路目標を持ち、進路実現に向けて主体的に取り組む。(目標:進路目標を持つ70%) ■自己の進路選択に主体的に取り組む態度と能力を養うため、適切に進路に関する情報を提供するとともに、継続的にキャリア教育を行う。(目標:進路に関する情報や資料満足度80%) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ハローワークや若者サポートステーション等の関係機関と連携し、生徒の実状に合わせた進路支援ができた。 ■LTや探究でのキャリア教育、外部講師(60人60色)による講演などを通して、進路に対する興味、関心を高め、理解を深める取り組みを行った。しかし、具体的な進路目標を持った生徒は40.5%(58.1)、進路に関する情報や資料満足度は70.3%(72.1)で、早急に対策を考える必要がある。 <p style="text-align: center;">※()内は昨年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■進路実現に向けて、主体的に取り組むことができるように、早い時期から面談や説明会への積極的な参加を促し、さらなる進路意識の向上を目指す。 ■地元職業人と語る会(60人60色)やジョブ・トレーニング(就業体験)等、キャリア教育の充実を図るとともに、生徒の進路決定の一助とする。 ■三者面談を3回(前期2回、後期1回)実施しているが、個々の必要に応じて面談を設定するとともに、保護者に対しても進路に関する情報や資料を随時、提供していく。
4 保健指導 教育相談 心身の健康に対する意識の向上と教育相談の充実	<ul style="list-style-type: none"> ■スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携し、教育相談の充実を図り、心の問題や不適応の早期発見と早期対応を行う。 ■夏休みおよび冬休み明けには、担任との個人面談を行なうとともに、必要に応じて三者面談を行なった。(目標:相談しやすさ80%) 	<ul style="list-style-type: none"> ■教職員とSC、SSWとの情報共有を密にし、1、2年生の全員面談など生徒面談の機会を増やした。教育相談のしやすさは67.5%(65.2)と目標に達していないが、昨年より向上がみられた。SC、SSWの本校勤務は週一日であり、特定の生徒の相談が多く、悩みがあっても相談することができない生徒もいた。 <p style="text-align: center;">※()内は昨年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■SCやSSW、関係機関の専門的知識や意見を取り入れ、保護者も巻き込んだ活発な教育相談を行う。 ■「打ち合わせ会」等で、特に支援が必要な生徒に対しては、児童家庭課や児童相談所等の関係機関からの情報収集やSCやSSWとの相談の機会を積極的につくる。
5 交通安全指導 交通安全についての意識の確立と規則遵守の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ■交通安全に対する意識を高めさせるとともに、思いやりを持って、自己の安全のみならず他の人々の安全にも配慮して道路を通行できるようにする。(目標:交通規則遵守度95%) 	<ul style="list-style-type: none"> ■講習会の実施、全校集会やホームルームでの指導を徹底し、交通安全に対する意識の向上に努めた結果、交通ルールを守ることができた生徒は、97.3%(93)と向上し、目標を達成することができた。 <p style="text-align: center;">※()内は昨年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■警察や自動車学校等の関係機関との連携を一層強化し、自転車の乗り方等、まわりの人々の安全に配慮できるような交通安全教育を推進する。 ■交通安全講習会、講演会を定期的に開催。交通安全教育の取組みを継続的に行う。